

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／その他資産（商品）
信託期間	無期限（2011年2月7日設定）
運用方針	主として純金上場信託（現物国内保管型）受益証券への投資を通じて、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。純金上場信託（現物国内保管型）受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。
主要運用対象	純金上場信託（現物国内保管型）受益証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	受益証券発行信託の受益証券への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ 純金ファンド

愛称：ファインゴールド

第12期（決算日：2023年1月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「三菱UFJ 純金ファンド」は、去る1月20日に第12期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数(指標)		受益証券発行信託受益証券比率	純資産額
	(分配落)	税金	騰落率	騰落	騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
8期(2019年1月21日)	11,620	0	△ 5.5	4,521	△ 4.8	100.0	17,069
9期(2020年1月20日)	14,062	0	21.0	5,537	22.5	100.0	24,353
10期(2021年1月20日)	15,782	0	12.2	6,194	11.9	98.4	51,630
11期(2022年1月20日)	16,869	0	6.9	6,771	9.3	99.1	66,063
12期(2023年1月20日)	19,701	0	16.8	8,007	18.3	99.0	101,271

(注) 当ファンドの参考指数(指標価格)は、大阪取引所(2020年7月22日までは東京商品取引所)における金1グラム当たりの先物価格をもとに現在価値として三菱UFJ信託銀行が算出した理論価格です。参考指数(指標価格)は、日本における金の店頭小売・買取価格や海外で公表される取引価格とは異なります。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数(指標)		受益証券発行信託受益証券比率
	騰落率	騰落率			
(期首) 2022年1月20日	円 16,869	% —		% —	% 99.1
1月末	16,553	△ 1.9	6,652	△ 1.8	98.9
2月末	17,601	4.3	7,087	4.7	99.4
3月末	18,725	11.0	7,539	11.3	99.8
4月末	19,457	15.3	7,849	15.9	99.3
5月末	18,964	12.4	7,623	12.6	99.0
6月末	19,704	16.8	7,968	17.7	98.6
7月末	18,687	10.8	7,564	11.7	99.1
8月末	18,993	12.6	7,683	13.5	99.0
9月末	19,136	13.4	7,762	14.6	98.8
10月末	19,329	14.6	7,815	15.4	99.1
11月末	19,336	14.6	7,817	15.4	99.0
12月末	19,216	13.9	7,763	14.7	99.1
(期末) 2023年1月20日	19,701	16.8	8,007	18.3	99.0

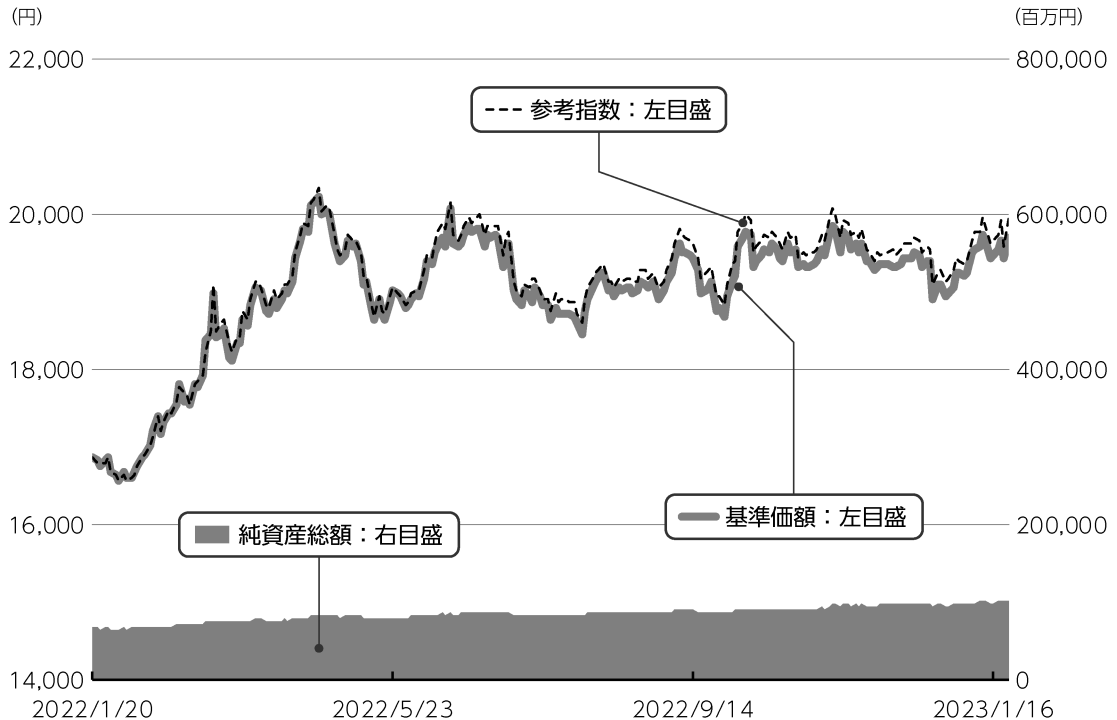
(注) 騰落率は期首比。

運用経過

第12期：2022年1月21日～2023年1月20日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第12期首	16,869円
第12期末	19,701円
既払分配金	0円
騰落率	16.8%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ16.8%の上昇となりました。

基準価額の変動要因**上昇要因**

円安・米ドル高となったことが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

ドル建て金価格の下落が基準価額の一時的な下落要因となりました。

第12期：2022年1月21日～2023年1月20日

投資環境について

▶ 金市況

金価格は上昇しました。

期間の初めから2022年3月頃まではロシアのウクライナ侵攻を受け地政学的リスクの高まりなどが材料視され、金を買う動きが強まり金価格は上昇しました。

その後10月頃までは、米国長期金利の上昇傾向が顕著となり、金利の付かない金を売る動きが強まり金価格は下落しました。

その後、期間末にかけては、米国長期金利上昇がピークアウトの動きとなったことなどもあり米ドルが売られ、米ドルの

代替資産と見なされる金を買戻す動きが強まり、金価格は上昇しました。

期間を通じて見ると金価格は上昇しました。

▶ 為替市況

期間の初めから2022年10月頃までは日米金利差拡大を背景に円安・米ドル高が進みました。

その後期間末にかけては、円高・米ドル安へ転じました。

期間を通じて見ると円安・米ドル高となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

純金上場信託（現物国内保管型）を主要投資対象とし、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざして運用を行いました。

▶ 参考指数との比較

ドル建て金価格が上昇、円安・米ドル高となったこともあり、参考指数は期間の初めと比べて18.3%の上昇となりました。当ファンドの投資対象である純金上場信

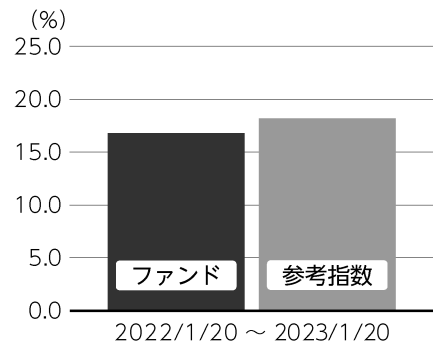
託「金の果実」は17.6%上昇しました。当ファンドと参考指数のカイ離のうち、△0.6%程度は参考指数と当ファンドの投資対象である純金上場信託「金の果実」の値動きが必ずしも一致しないことなどに起因するものです。また、△0.8%程度は当ファンドにおいて一定のキャッシュを保有していることや信託報酬、取引コスト等によるものです。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数は指標価格です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第12期 2022年1月21日～2023年1月20日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	9,701

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

純金上場信託「金の果実」を高位に組み入れることにより、わが国の取引所における金価

格の値動きをとらえることをめざします。

2022年1月21日～2023年1月20日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	104	0.550	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(47)	(0.247)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(47)	(0.248)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(10)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.010	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(投 資 信 託 証 券)	(2)	(0.010)	
(c) その他費用	1	0.003	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	107	0.563	

期中の平均基準価額は、18,984円です。

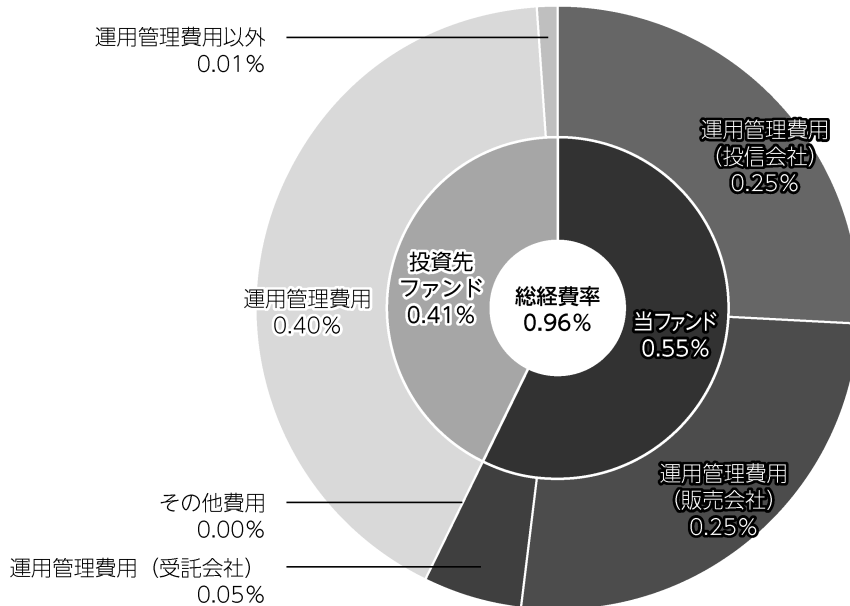
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	0.96
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.55
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.40
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.01

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年1月21日～2023年1月20日)

受益証券発行信託の受益証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	純金上場信託（現物国内保管型）	千口 3,174	千円 23,331,368	千口 117	千円 831,225

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2022年1月21日～2023年1月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %

利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
受益証券発行信託の受益証券	百万円 23,331	百万円 831	百万円 100,222

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	8,617千円
うち利害関係人への支払額 (B)	46千円
(B) / (A)	0.5%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2023年1月20日現在)

国内受益証券発行信託の受益証券

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
純金上場信託 (現物国内保管型)		10,157	13,215	100,222,855	99.0
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	10,157 1	13,215 1	100,222,855 <99.0%>	

(注) 比率および合計欄の〈 〉内は、純資産総額に対する評価額の比率。

【ETF（上場信託）の概要】

ETFの直近の入手しうる有価証券報告書等から抜粋して作成しています。

ファンド名	純金上場信託（現物国内保管型）（愛称：「金の果実」）
内容	金地金を信託財産とした信託に係る受益権を金融商品取引所に上場し、受益者の投資に資するよう受託者が主として金地金を信託財産として管理及び処分することを目的とするETFです。
指標価格	金地金の現在価値を算出するために、大阪取引所における金1グラムあたりの先物価格を、金のフォワードレートで現在価値に引き直した理論価格として受託者が算出します。
決算月	1月

【損益計算書】

		(単位：千円)
		(自 2021年1月21日 至 2022年1月20日)
営業収益	その他の事業収益	(注1) 123,989
	営業収益合計	123,989
営業費用	受託者報酬	609,341
	その他費用	20,835
	その他の事業費用	-
	営業費用合計	630,177
営業損失(△)		△506,187
営業外収益	受取利息	0
	営業外収益合計	0
経常損失(△)		△506,187
税引前当期純損失(△)		△506,187
当期純損失(△)		△506,187

(注1) その他の事業収益とは、信託約款第23条に基づく信託財産の売却による利益であります。

【信託財産を構成する資産の内容】

①金地金

資産の種類	金地金
品質	信託契約に定める所定の要件（注1）を満たすもの
質量	22,835,873.315g（2022年1月20日時点）（注2）
価格	116,452,715,028円（2022年1月20日時点）（注3）
保管場所	サブ・カस्टディアンの倉庫（日本国内）

(注1) 純度が99.99%以上のものを指します。

(注2) 受託者は、信託報酬等の支払い等に必要な限度で信託財産を構成する金地金を売却しますので、信託財産を構成する金地金の質量はかかる売却により減少します。売却される信託財産を構成する金地金の質量は、信託報酬等の額と売却時における信託財産を構成する金地金の市場価格によって異なります。また、信託財産は、追加信託により増加し、転換により減少する場合があります。

(注3) 計算期間末日（2022年1月20日）時点における金地金の総額（簿価）を記載しております。

②金銭

資産の種類	金銭
価格	84,900,184円（2022年1月20日現在）

※上記金銭は、受託者の銀行勘定で預かります。

○投資信託財産の構成

(2023年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
受益証券発行信託の受益証券	千円 100,222,855	% 98.4
コール・ローン等、その他	1,643,749	1.6
投資信託財産総額	101,866,604	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年1月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	101,866,604,661
コール・ローン等	1,643,748,885
受益証券発行信託の受益証券(評価額)	100,222,855,776
(B) 負債	595,134,877
未払金	198,243,703
未払解約金	142,011,872
未払信託報酬	253,560,325
未払利息	528
その他未払費用	1,318,449
(C) 純資産総額(A-B)	101,271,469,784
元本	51,403,696,345
次期繰越損益金	49,867,773,439
(D) 受益権総口数	51,403,696,345口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,701円

<注記事項>

- ①期首元本額 39,161,839,823円
 期中追加設定元本額 30,628,623,243円
 期中一部解約元本額 18,386,766,721円
 また、1口当たり純資産額は、期末1,9701円です。

②分配金の計算過程

項 目	2022年1月21日～ 2023年1月20日
費用控除後の配当等収益額	—円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	9,006,067,824円
収益調整金額	37,099,446,225円
分配準備積立金額	3,762,259,390円
当ファンドの分配対象収益額	49,867,773,439円
1万口当たり収益分配対象額	9,701円
1万口当たり分配金額	—円
収益分配金金額	—円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

○損益の状況 (2022年1月21日～2023年1月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 462,097
受取利息	4,957
支払利息	△ 467,054
(B) 有価証券売買損益	9,474,202,974
売買益	12,249,310,963
売買損	△ 2,775,107,989
(C) 信託報酬等	△ 468,057,817
(D) 当期損益金(A+B+C)	9,005,683,060
(E) 前期繰越損益金	3,762,182,057
(F) 追加信託差損益金	37,099,908,322
(配当等相当額)	(27,426,850,717)
(売買損益相当額)	(9,673,057,605)
(G) 計(D+E+F)	49,867,773,439
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	49,867,773,439
追加信託差損益金	37,099,908,322
(配当等相当額)	(27,426,850,717)
(売買損益相当額)	(9,673,057,605)
分配準備積立金	12,768,327,214
繰越損益金	△ 462,097

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

【お知らせ】

信託金限度額の増額を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。
 (2022年10月20日)